

令和5年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川町立揖斐川中学校・揖斐川町立北和中学校・揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県立揖斐高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標と重点

(1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りをもち、貢献する

【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する

(2) 連携型中高一貫教育の令和5年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・中高連携の活動と指導の充実
- ・本事業の一層の理解を求めて、保護者・町民への広報活動を充実させる

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	揖斐Basic ・ 学習面談	<p><揖斐Basic></p> <p>○朝の会前やLHR等の時間にテキストを使った学習を計画的に位置付け、継続して取り組むことで、進学に向けて必要な学力の向上、高校での学習内容の理解をさらに深めることにつながった。</p> <p>▲全員が同じテキストに同じ進捗で取り組んでいるため、より個々の学力や進路希望にあった学習をできるようにする必要がある。</p> <p><学習面談></p> <p>○6月には中学3年生全員、10月にそのうちの揖斐高校進学希望者に面談を実施した。中学生が高校の教師に揖斐Basicで取り組んだテキストを見てもらいながら、学習の仕方や進路実現に向けて悩んでいること等についてアドバイスを受けることにより、進路実現のための意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○事前指導として、入室退室の仕方やしなみ、立ち居振る舞いや話し方などの指導を行い、練習をした上で面談に向かうことで、社会に出ていく上でのマナーを身に付けることができた。</p>
	サマースクール	<p>○教科の学習の仕方についてのアドバイスや、高校での学習内容を含めた講義がなされており、生徒の学びへの意欲を高めた。</p> <p>○揖斐高校への進学を希望している生徒は、入学後イメージしながら参加できた。他の生徒にとっても学習への意欲付けができ、進路実現につながる有意義な体験になった。</p> <p>▲開催方法や参加対象者、講義内容について検討の余地がある。</p>
	中高の教師の交流	<p>○サマースクールでの問題検討は、中高を見通した上での教科で付きたい力の交流につながり、日頃の授業を工夫するためのきっかけとなった。</p> <p>○学習面談での情報交流を通して、中高6年間を見通した生徒指導、進路指導につなげることができた。</p> <p>○中学校の教員が高校の、高校の教員が中学校の授業の指導に入ることは、生徒の実態把握と授業の進め方等について互いに理解を深めることにつながった。</p> <p>▲担当の教師だけでなく、より多くの教師が授業の進め方などを交流する機会を設けるとよい。</p>



【揖斐 Basic】



【学習面談】



【サマースクール】



【サマースクール問題検討】

学びに向かう力の育成	中高連携行事 (卒業生講話) の実施	<p>○揖斐高校の3年生徒を出身中学校へ招き、中学2年生へ高校での生活の様子や、中学校生活で大切にしたいことについて話してもらうことで、進学、就職等、高校卒業後まで視野に入れた進路について考える機会となり、有意義なものとなった。</p>	 <p>【卒業生講話】</p>
	体験学習や 学習成果発表会への参加	<p>○中学2年生が高校で体験学習に参加し、高校の雰囲気や職業科の学習に触れることは、早い段階から進路について考え始めるよい機会となった。</p> <p>○体験学習では、中学生に説明する高校生の姿は中学生のよい目標となり、高校生にとっては自分の取組を振り返り、自信をもつことにつながった。</p> <p>○中学2年生が学習成果発表会の参観をすることで、体験学習で体験したことと発表の内容をつなげ、憧れをもつとともに、進路決定に向け、決意を新たにすることができた。</p>	 <p>【体験学習】</p>
地域に貢献する態度の育成	地域における 中高生の 活躍の場の 位置付け	<p>○町青少年育成大会では揖斐高校の生徒が司会進行、運営補助を行った。町の行事を支えるとともに、大舞台上で活躍した姿は、参加した高校生の自信にもつながった。</p> <p>○「いびがわマラソン」や「クリーン大作戦」等に、多くの中高生がボランティアとして参加し、地域の方と共に活動を支えた。</p>	 <p>【いびがわマラソンボランティア】</p>
	地域との連携	<p>○揖斐高校のデュアル系列の3年生が、毎週水曜日、町内外の企業に行き、実際の仕事を体験してもらうことで、生徒は仕事内容、苦労ややりがいなどを十分に理解し、就職に生かすことができた。</p> <p>○街頭啓発活動でのMSリーダーズや中学生の参加が定着した。中学生は高校生の姿から、地域の方との関わり方を学んだ。</p> <p>○一部の公民館活動では、高校生が中学生を指導しながら、活動を計画・運営することができた。</p>	 <p>【街頭啓発活動】</p>
	保護者・地域住民の 啓発	<p>○町の広報誌「広報いびがわ」、ローカルテレビ番組「いびがわチャンネル」、新聞各紙で地域住民への情報提供を進めた。</p> <p>○各学校の「通信」で、サマースクールや体験学習の様子を保護者に伝えることで、中高一貫教育についての理解を深めることができた。</p> <p>○揖斐高校のWebサイトでも行事を連絡するなど、広く周知を図った。</p> <p>▲保護者・地域住民への理解を深めるために、連携行事に保護者や地域の方の参加を促していく。</p>	 <p>【揖斐高校HPより】</p>